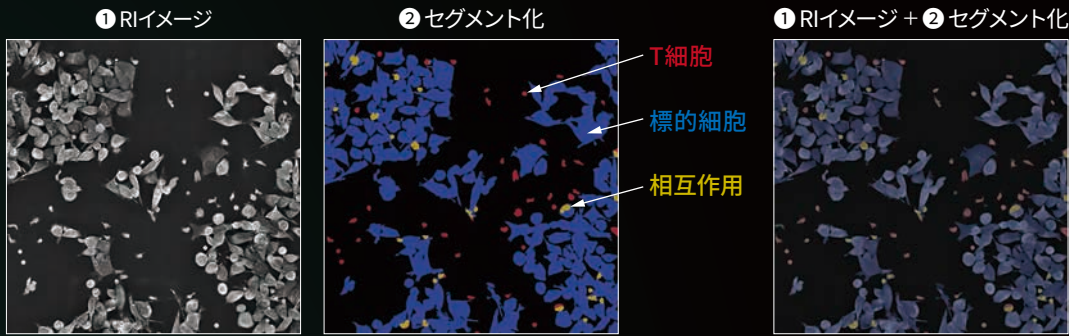


# LIVE T CELL ASSAY

独自の生細胞分析によって、非侵襲かつラベルフリーで様々なパラメーターの解析を行います。

## 標的細胞とT細胞をラベルフリーでセグメント化



▲ 詳しい情報は  
上記へアクセス!

## 非侵襲でT細胞反応を定量分析

細胞集団およびその相互作用における動的な変化を長時間観察可能

Live T Cell Assayは、T細胞および標的細胞の表現型プロファイリングや、相互作用に特化した計測が可能です。

	標的細胞	T細胞	相互作用
細胞の培養密度	○	○	
細胞数	○	○	
領域	○	○	
外周	○	○	
コンパクトさ	○	○	
範囲	○	○	
形状因子 (真円度)	○	○	
乾燥質量密度	○	○	
平均乾燥質量	○	○	
粒度	○	○	
平均屈折率 (RI)	○	○	
偏心率	○	○	
T細胞の速度		○	
標的細胞と接触したT細胞の割合			○
T細胞に覆われた標的細胞の割合			○
標的細胞と接触したT細胞の割合			○
T細胞と標的細胞の最小距離			○

## LIVE T CELL ASSAY

# T細胞の応答を分析 より早く最適な医薬品の候補を見つけます。

### FIND

T細胞が積極的に標的細胞を探しているかどうかを確認することができます。  
T細胞の速度とT細胞から標的細胞までの距離を用いて、  
このフェーズでどのような影響を与えるかを調査・比較します。

### FIND

### BIND

結合段階の時間を計算することで、投薬治療や遺伝子改変キメラ抗原受容体T細胞 (CAR-T細胞) が、  
in vitroで標的細胞に対しどのように作用するかを比較します。

### FIND

### BIND

### STRESS

粒度による標的細胞の内部構成/組織の変化をモニタリングすることで、  
T細胞が標的細胞に影響を与え始めるタイミングを評価します。

### FIND

### BIND

### STRESS

### KILL

T細胞が標的細胞を攻撃し始める瞬間を正確に特定します。  
動的情報を取得：「T細胞の最速攻撃フェーズはいつか」「T細胞が減速し始めるのはいつか」など

### FIND

### BIND

### STRESS

### KILL

### SERIAL KILL

標的細胞を攻撃をしたT細胞が、再び攻撃をできるかどうかを確認することができます。  
T細胞が攻撃を継続できるのであれば、医薬品として望ましい特性を有するといえます。



本社：〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6-18-14 T.I.ビル ☎03-3686-4711  
大阪営業所：〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-46 新大阪北ビル ☎06-6393-7411  
☎ <https://www.tokyoinst.co.jp> ✉ [sales@tokyoinst.co.jp](mailto:sales@tokyoinst.co.jp)

**TII Group Company** – グローバルにネットワークを広げ、最先端の科学をお客様に提供 –

株式会社 ユニソク

超高真空・極低温走査型プローブ顕微鏡、  
高速分光測定装置、クライオスタット



LOTIS TII

Nd:YAGレーザー、Ti:Sレーザー、  
OPOLレーザー



SPECS-TII

Enviro ESCA (準大気圧XPS)、  
ARPESなど



- 本カタログに記載されている内容は、改良のため予告無く変更する場合があります。(製品の仕様、性能、価格などはカタログ発行当時のものです)
- 本カタログに記載されている内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本カタログに記載されているメーカー名、製品名などは各社の商標または登録商標です。

No.C-NL01-4101A.20220406